

令和5年 | 月 | 日 茨城県立勝田中等教育学校



グローバルの本質 (最終回)

II 月号から2回にわたって、勝田高校創立 50 周年記念式典後に行われた徳増浩司先生の講演を振り返ってきました。本日はその最後です。

日本に帰国後、茗渓学園の教員を経て日本ラグビーフットボール協会の国際部長となった徳増先生は、これまでイギリスなどの少数のラグビー強豪国でしか開催されたことのないワールドカップを、初めてアジアに、しかも日本で開催するために、世界各国のラグビー関係者を訪ね歩き、日本大会の実現に向けて協力をお願いしてまわります。しかし、「日本?どこにあるの?日本人もラグビーやるの?」と世界各国の反応は冷たく、世界を舞台に日本をアピールすることの難しさを痛感するのです。しかし、徳増先生はあきらめません。「確かに日本はまだラグビー強豪国ではないが、そんな国でワールドカップ大会を開くからこそ、アジアに新たなラグビーファンが生まれ、結果的にラグビー人口が増える」というメリットを打ち出し、他の国にはない日本の素晴らしさをアピールしていきます。その時に徳増先生が実感したのは、「日本人は必要な時だけアピールするが、世界では、友人として継続的に連絡をし続け、関係を長続きさせることが大切」ということでした。そこで徳増先生は、世界各国のラグビー関係者に友人を作り、機会あるごとに連絡を取り続けます。そうした徳増先生たち日本チームのアピールと熱意は徐々に世界のラグビー関係者に伝わっていき、ついに 2019 年のラグビーワールドカップ大会の日本開催が決まるのです。

そして 2019 年の日本大会の成功は皆さんの記憶にも残っているでしょう。アジアの国として初めてラグビーワールドカップ大会を開催した日本は、そのたぐいまれなる「おもてなし精神」で、世界を感動させます。徳増先生が見せてくれたイギリスのニュースでは、アナウンサーが感動しながらこう続けます。「見てください!日本人の観客が、敵国である我々イギリスの国歌を歌っている!こんな国が世界のどこにあるでしょうか。日本大会で、我々は日本人の素晴らしい hospitality (おもてなし) に多くを学びました!」私たち日本人が普通にしていることが、世界ではこんなに評価されるとは。私たちはあらためて日本文化の素晴らしさを知るのです。

「風水」という古代中国の考えでは、2023 年は「グローバル」「多様性」「ボーダレス(境界がない)」などを意味する「風」の年だそうです。まさに勝田中等生にふさわしい年ですね。徳増先生のお話を通して学んだことを活かして、ぜひ 2023 年を素晴らしい年にしてほしいと思います。 (校長 下山田芳子)



2022年。一年を通して、中等生大活躍でした!















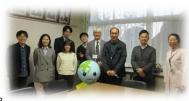




🍄滥 2年次生サイエンスデイ開催

1 エンステ1 開催 2022. | 2. | 5 (木)





ヘミ 4.5分かし フ眼 似とねま サフェンファン

2 年次生全員が参加して開催されたサイエンスデイ。

7名の講師の方々のご指導のもと、驚きと感動を実体験することができました。



















SC 来校日3日·17日·24日

- I 日(日)元旦
- 2日(月)振替休日
- 6日(金)全校集会·入選会場準備 金⑤⑥
- 7日(土)中等入学者選抜
- 9日(月)成人の日
- 10日(火)生徒休業日

※I/6(金)午後~I/IO(火)は本館·特別棟に入れません

- 11日(水)給食開始
- 12日(木)学力診断のためのテスト(国理)
- 13日(金)学力診断のためのテスト(英数社)

給食なし・下校

- 14 日(土) Z 会アドバンスト(希望者)
- 17日(火)生徒休業日
- 18日(水)中等合格発表
- 21日(土)英検

23日(月)学力推移調査

- 3日(金)授業公開⑥(2C·GCP)
 - (お客様が多数来校されます)

学校評議員会(書面開催)

- 8 日(水)学年末考査(~10日)
- ||日(土)建国記念の日
- 18日(土)中等入学予定者説明会
- 21日(火)未来探究発表会(2年次)
- 23日(木)天皇誕生日



● 日没後の学習館前のイルミネーション● です。電源は太陽光を利用しています。

ぜひ、下校の際に観賞してほしいです!





☆2月に、授業を参観し、来年度に向けて、保護者の皆様と懇談する機会を設けられるよう計画をしております。 新型コロナウイルス感染症の再拡大が予想されておりますので、詳細がご連絡できるまで、少々お時間をいただき ます。ご了承ください。